



2011年12月期 業績概要

2012年2月15日

株式会社SmartEbook.com(証券コード:2330)

# 2011年12月期 業績概況

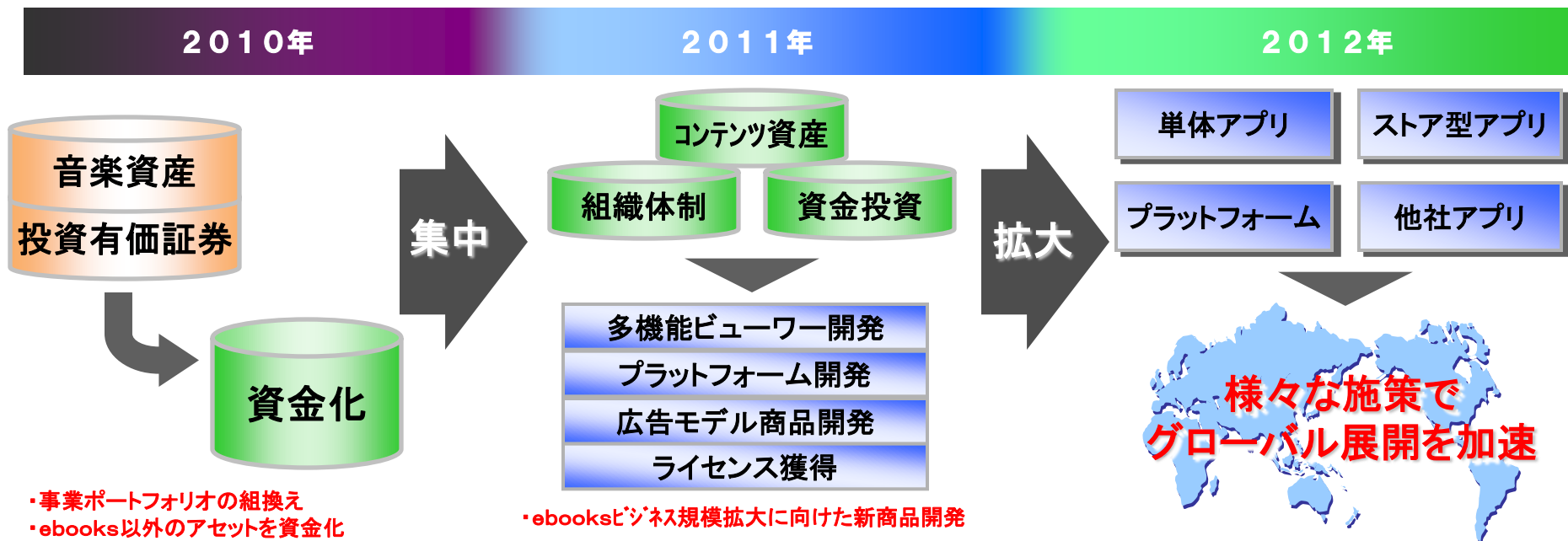
# 2011年12月期 概況

モバイルコンテンツ市場が大きく変動する中、2010年よりB2C向けコンテンツビジネスから成長市場導入期にあるスマートフォンebooks市場でのB2Bビジネス構築に特化。

ebooks以外の事業・資産の資金化を行い、「スマートフォン」「ebooks」への集中投資を行う。

2011年はebooksビジネス規模拡大に向けた新商品開発、キャリアリレーション強化、マーケット開拓、各エリア・多様な言語でのライセンス獲得に特化。

今後はこれまでに開発したビューワー、プラットフォーム、サービスを様々な施策で提供を行い、グローバルマーケットにおけるebooksプレイヤーのポジショニングを確立させる。



# 2011年12月期 損益状況

ケータイ市場・モバイルコンテンツ市場が大きく変動する中、B2C向けコンテンツビジネスから成長市場導入期にあるスマートフォンebooks市場でのB2Bビジネス構築に特化。

ebooksビジネス規模拡大に向けた新商品開発などの先行投資により、当決算期においては減収・減益となった。

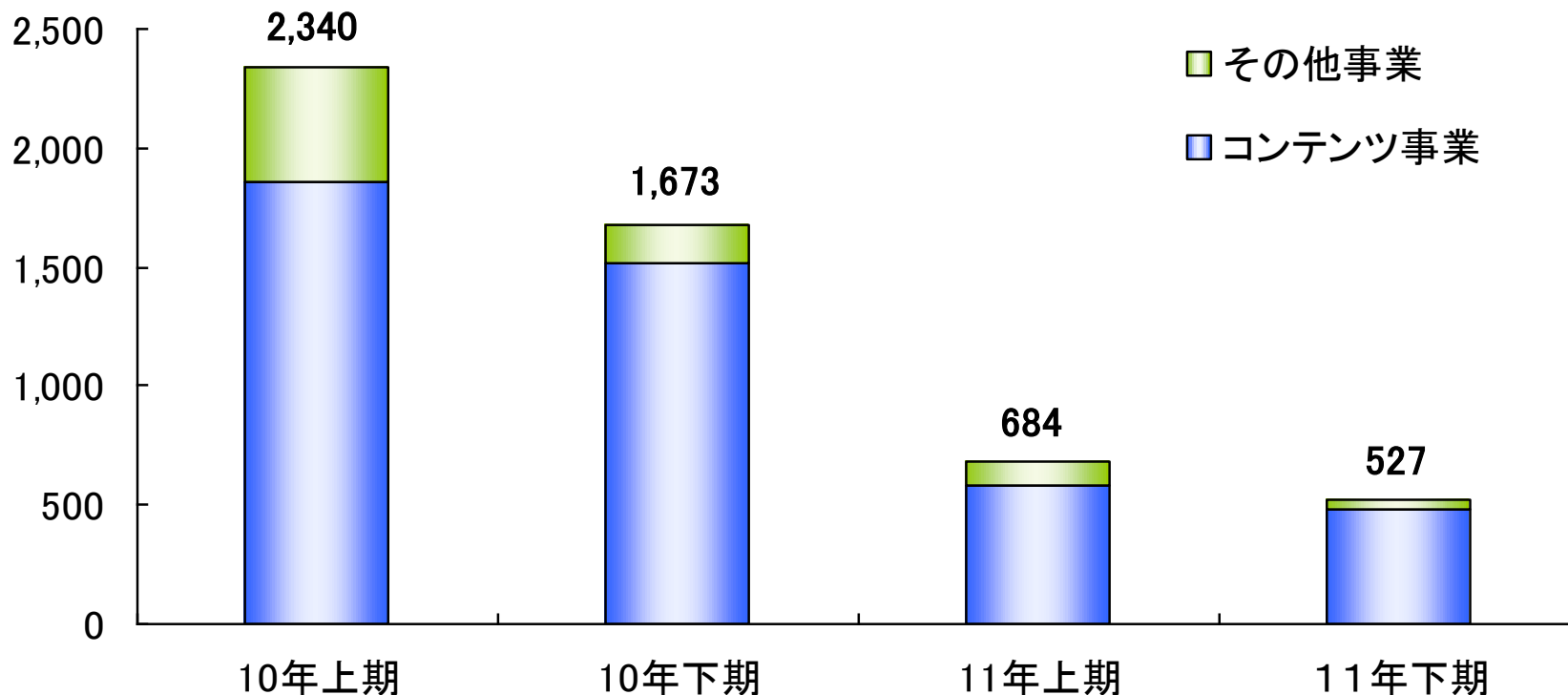
(単位:百万円)

	2011年度 (累計)		2010年度 (累計)		増減率 (%)	主要因
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
売上高	1,211	100.0%	4,014	100.0%	-69.8%	「B2Cビジネス」「フィーチャーフォン」から「B2Bビジネス」「スマートフォン」への転換に伴い、前期に国内フィーチャフォンサイト向けサイトの売却・統廃合を実施。 事業ポートフォリオの完全なる組換えにより減収となった。
売上総利益	422	34.8%	2,548	63.5%	-83.4%	プラットフォーム開発やビューワー開発、今年新たに獲得した214万タイトルの商品化により、売上よりも先行したコストが増加。 フィーチャーフォン向けコンテンツ資産の減損会計による一括費用計上も重なり、売上総利益は減益となった。
営業利益	-1,156	-	-998	-	-	ebookビジネスにおける先行優位性を創造するプラットフォーム開発、アプリケーション開発、キャリアリレーション営業、グローバルエリアにおけるテストマーケティングに集中をした結果、今期においては損失計上となった。
経常利益	-1,107	-	-992	-	-	
当期利益	-1,731	-	-1,490	-	-	本社機能の移転に伴う撤退・撤去コスト及び人材・事業の再構築に伴うリストラクチャリングコストを特別損失計上。

# 売上高の推移

ケータイ市場・モバイルコンテンツ市場が大きく変動する中、国内フィーチャフォン向けの音楽、デコメ、動画などの多角的なサービスから、世界規模で急激なマーケット拡大が見込まれる、スマートフォン・ebooksビジネスへ集中。事業ポートフォリオの組換え、新規ビジネスモデル構築の集中に伴い減収。

(単位:百万円)

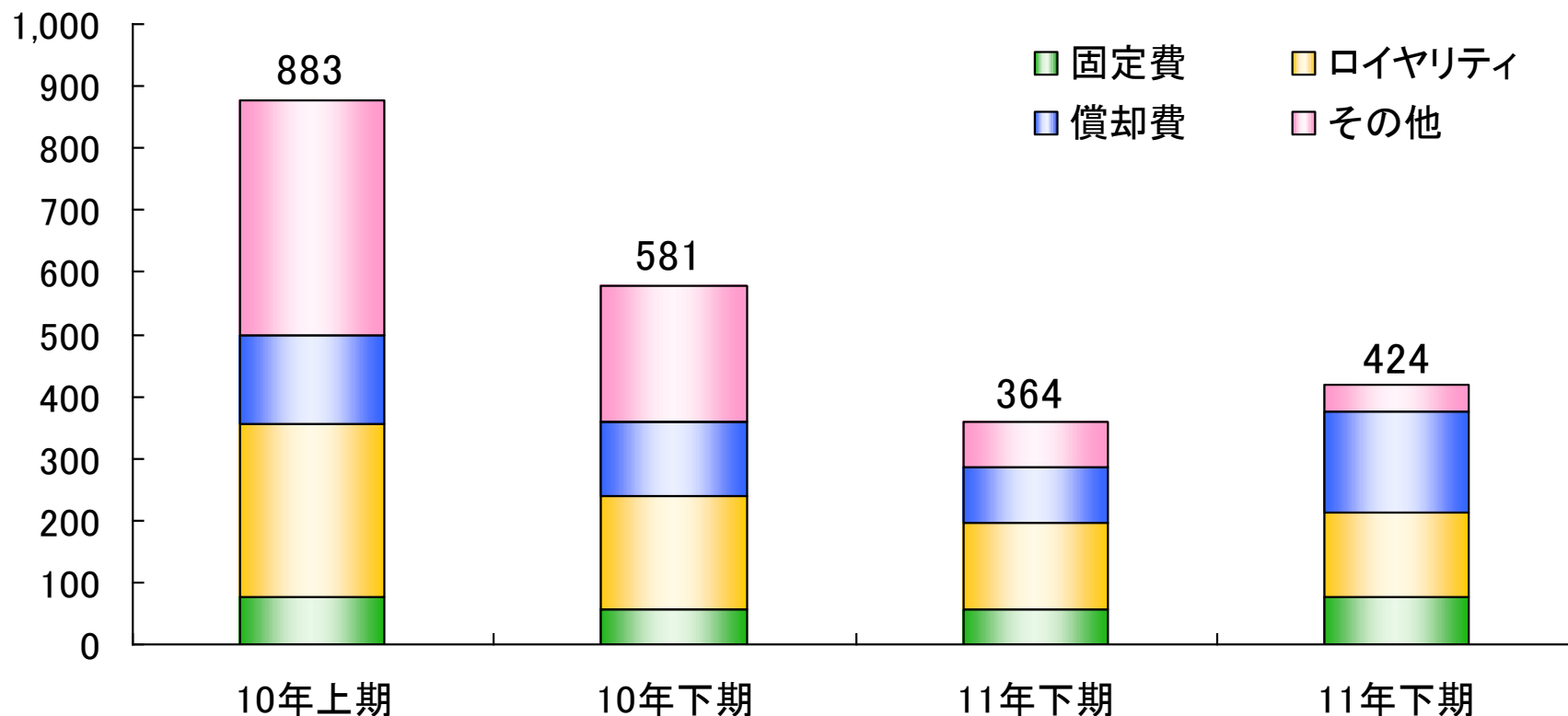


# 売上原価の内訳と推移

プラットフォーム提供に合わせたマスターシステム開発、ビューワー開発 及び今年新たに獲得をした214万タイトルの商品化・整備に投資比率を高めた。

2012年第1四半期には、フィーチャーフォンサイトを1サイトに集約する、「完全統合」が完了。既存事業運営合理化により売上原価の抑制を行う。

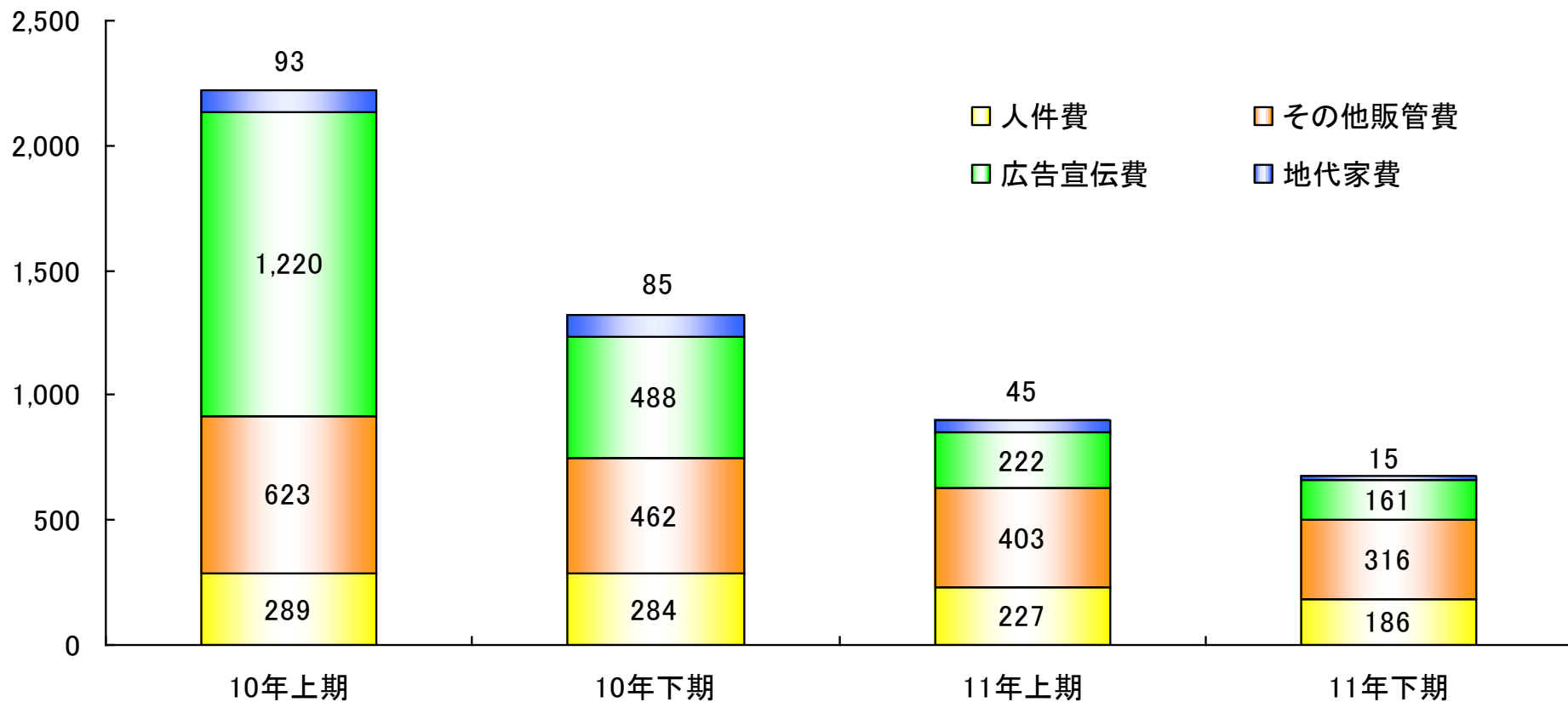
(単位:百万円)



# 販売管理費の内訳と推移

オフィス移転、組織体制の再構築、中国への業務アウトソースの実施等、徹底したコスト削減プランを実行。

(単位:百万円)

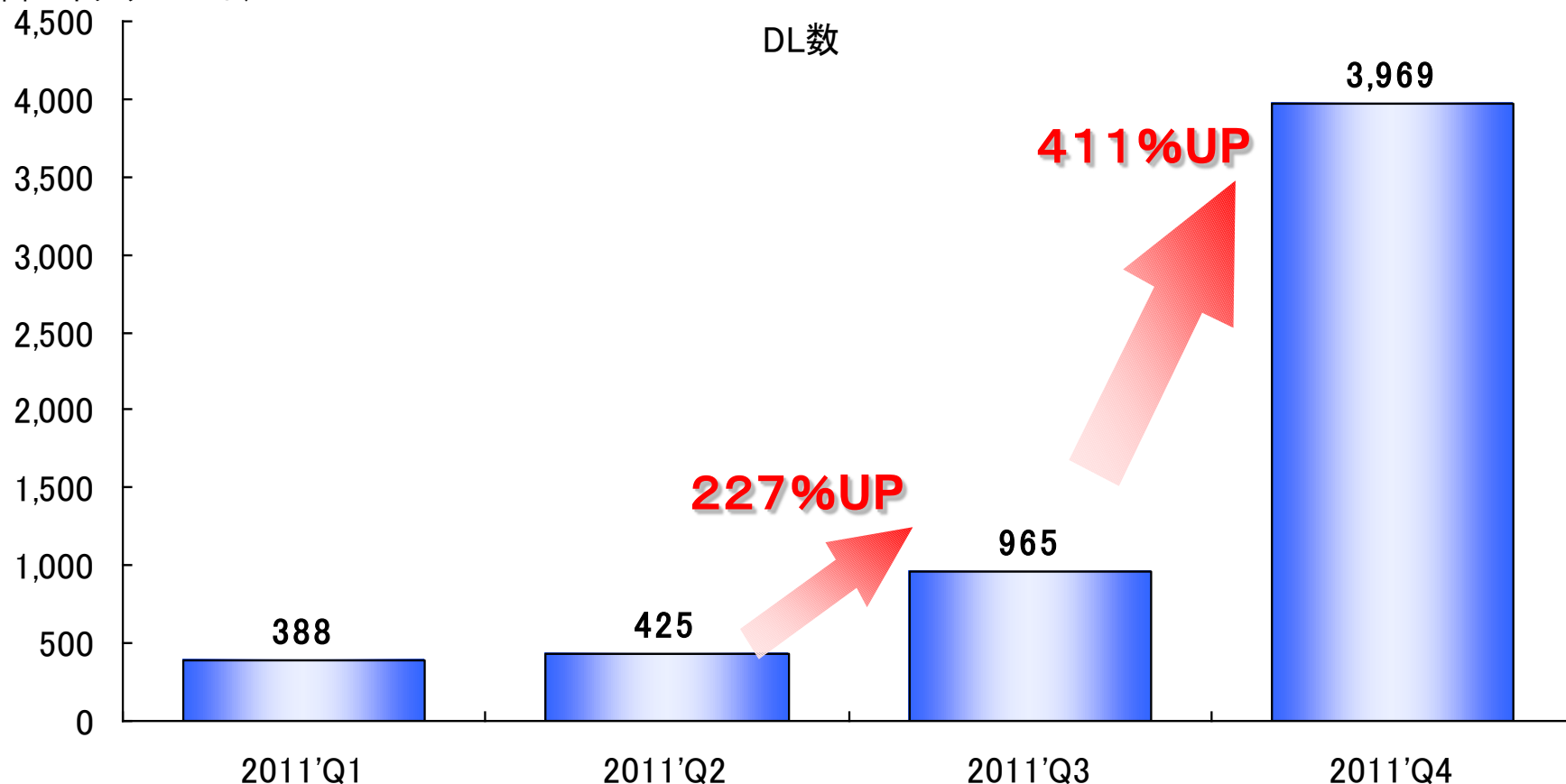


# ダウンロード実績

四半期毎のダウンロード実績では、中国語圏での利用拡大が牽引し、前四半期比では411%、第1四半期比では実に1000%超の急成長。

今後も新商品投入と配信マーケットの拡充を行い、更なる利用促進を計る。

(単位:千ダウンロード)







SmartEbook.comは  
ebooksビジネスに特化し、  
『一步一步を、着実に。』歩んで参ります。

## —免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社SmartEbook.comに属します。